

昭和33年春季年会(東京)

# 講演予稿集

日本天文学会

# 日本天文学会 1958 年春季年会

## プログラム

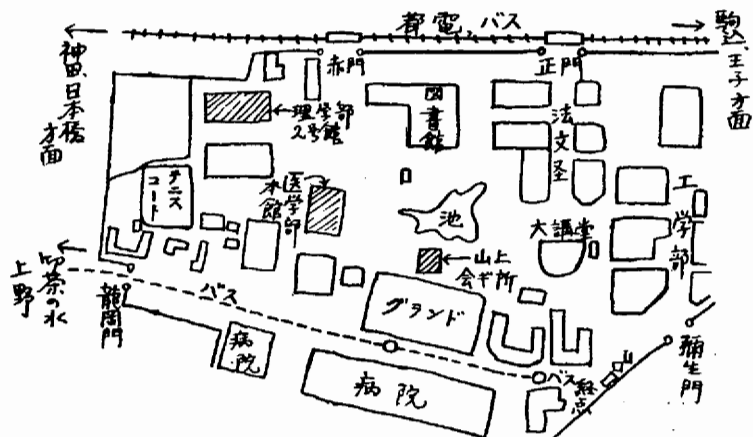
◇日時 5月15日(木), 16日(金), 17日(土)

◇場所 東京大学(本郷)および国立科学博物館(上野)

	午前 (9時より)	午後	夜
15 (木)	研究発表 (医学部本館)	研究発表 (医学部本館)	懇親会 (山上会議所)
16 (金)	研究発表および総会 (理学部2号館)	研究発表およびシンポジウムI (理学部2号館)	シンポジウムII (理学部2号館)
17 (土)	研究発表及びシンポジウムIII (理学部2号館)	午後2時より 公開講演 (科学博物館)	

評議員会: 15日(木) 正午より 赤門前白十字にて行います。

理事会: 17日(土) 正午より 赤門前白十字にて行います。



第 1 日 5 月 15 日 (木)

〔午前〕 (9 時より) (第 1 日午前の講演は測地学会と共催)

	分
1. 坪川家恒 (地理調査所): アストロラーベの一型式について (I) .....	8
2. 坪川家恒, 原田健久 ( // ): E.T.D. 子午儀による卯酉線観測 (II) .....	8
3. 檀原 毅 ( // ): 日食食分の測地学への利用 .....	7
4. 坪川家恒, 檀原毅, 瀬戸孝夫 ( // ): 掩蔽観測装置について .....	8
5. 村上源吉, 高木重次 (緯度観測所): P.Z.S. 乾板常数と refraction に ついて .....	8
6. 後藤 進 ( // ): F.Z.T. 乾板常数と温度係数について .....	8
7. 切田正実 ( // ): 顕微鏡による子午儀軸の不整測定 .....	8
8. 弓 滋 ( // ): 浮游天頂儀に対する金網の遮風効果 .....	7
9. 須川 方 ( // ): 緯度観測に及ぼす高層大気気層傾斜の影響に ついて .....	10
10. 服部忠彦 ( // ): PZT, VZT, FZT による緯度観測の比較 .....	5
11. 若生康二郎 ( // ): 極運動の一般式とその天文学的意味 .....	10
12. 角田忠一 ( // ): 報時受信波形の物理的解釈 .....	7
13. 高木重次 ( // ): deformable earth を仮定した時の地表の一点に おける apparent latitude variations .....	5
14. 高木重次 ( // ): 対流核のある場合の地球の回転運動の理論 .....	8

〔午後〕 (1 時より)

15. 飯島重孝, 岡崎清市 (東京天文台): 水晶時計の精度 .....	7
16. 飯島重孝, 大城義名, 小熊巖 ( // ): WWVH 波のドップラー・ シフト .....	7
17. 関口直甫 ( // ): 大気潮汐の地球自転速度変化に及ぼす影響 .....	5
18. 宮地政司, 河野昇 ( // ): 原子時系と天文時系との比較 .....	7
19. 中野三郎 ( // ): 1957 年の月の観測位置 .....	5
20. 堀源一郎 (東大理): 木星第 9 衛星の運動 (IV) .....	10
21. 上田 穰 (生駒山天文博物館): 相対論と space travel .....	10
22. 成相秀一, 上野義夫 (広島大, 理論物理研): 人工衛星による一般相 対論の検証について .....	8
23. 宮地政司他 (東京天文台): 人工衛星の軌道および観測について .....	15
24. 竹内端夫, 青木信仰 ( // ): 人工衛星の軌道 .....	10
25. 宮原 宣 (水路部): Hamilton-Jacobi の方程式の平衡点近傍の normal form について .....	8
26. 斉藤国治, 西恵三 (東京天文台): Sun-follower による飛行機か らの金環食観測について .....	7
27. 清水一郎 ( // ): 1957 年の太陽面活動状況について (H $\alpha$ 影 層活動状況の映画の映写) .....	12
28. 中込慶光 ( // ): フレアーとコロナ緑輝線強度との関係 .....	7
29. 末元善三郎, 日江井栄二郎 ( // ): フレアーの微細構造について .....	5
30. 下小田博一 (慶知学芸大): 太陽および惑星間の磁場, II, Polar Rays と一般磁場 .....	8

31. 難波 収 (大阪学芸大): 太陽彩層における電離ヘリウムの偏昇につ  
いて…………… 5
32. 森川之芳 (徳島大学芸学部): 火球の追跡…………… 8
33. 森川之芳 ( // ): 彗星の本性について…………… 8
34. 北村正利 (東京天文台): meteorites の色の分布について…………… 8
35. 田鍋浩義 ( // ): 夜光のスペクトル観測…………… 8
36. 古畑正秋 ( // ): 2月11日のオーロラ概報…………… 8

[夜] (5時半より) 懇 親 会 (日本天文学会 50周年記念祝賀会)

第 2 日 5 月 16 日 (金)

[午前] (9時より)

37. 大沢清輝 (東京天文台): A型星の UBV 式光電測光…………… 7
38. 西村史朗 (東大理): 白鳥座 W 星の分光測光学的研究…………… 8
39. 藤田良雄, 山下泰正, 西村史朗 ( // ): 白鳥座 R 星の 4651 お  
よび 4676 の輝線について…………… 5
40. 川知周作, 小暮智一, 神野光男 (京大理): 流出大気における禁制  
線の形成について…………… 7
41. 神野光男 ( // ): 惑星状星雲における condensation のスペク  
トルについて…………… 7
42. 石田憲一 (東大理): 炭素星の統計的研究…………… 7
43. 石田憲一 ( // ): ミラ型星について…………… 5
44. 小暮智一 (京大理): Be 星の Balmer decrement について…………… 7
45. 寿岳 潤 (京大基研): 高速計算機によるモデル大気の計算について…………… 5
46. 上杉 明 (京大理): 白色矮星のモデル大気について (I)…………… 5
47. 細川良正 (山形大文理学部): Kopal の光学的摂動項の解釈について…………… 8
48. // ( // ):  $\beta$  Per の要素の修正について…………… 5
49. 川口市郎 (京大花山天文台): 彩層における FeI, Ti II の輝線成  
長曲線について…………… 8
50. 高窪啓彌 (東北大理): 低速星間雲について…………… 8

通 常 総 会 (午前の講演に引きつづき開催)

昭和 32 年会務報告の件, 同会計報告の件, 評議員半数改選の件, その他

[午後] (1時より)

51. 竹内 峯 (東北大理): 脈動星の質量光度関係について…………… 8
52. 一柳寿一, 須田和男 ( // ): 等温核と対流平衡の中間層を有する  
星のモデル. III, 等温縮退核を有する星のモデル…………… 7
53. 角田忠一 (緯度観測所): 輻射流と電気伝導度…………… 8
54. 島村福太郎 (東京学芸大): 恒星内部における重核濃度…………… 8
55. 下田真弘 (東大理), 小尾信彌 (東大教養): 対流外層をもつ星のモ  
デル (続)…………… 8
56. 角田忠一 (緯度観測所): 縮退過程と星の化学組成…………… 7
57. 土屋 淳 (東京天文台): 200 Mc/s 帯における太陽電波の狭帯域  
スペクトル…………… 8

58. 森本雅樹 (東大理): 200 メガ干渉計による太陽バーストの観測について…………… 7
59. 鈴木重雅 (東京天文台): 多相電波干渉計の改良について…………… 5
60. 鈴木重雅, 土屋 淳 ( // ), 森本雅樹 (東大理): 200 メガにおける Type I バーストについて…………… 8
61. 郷 鉄夫 (東大理, 現在電波研), 河鱒公昭 (東京天文台): マイクロ波アウトバーストについて…………… 7
62. 畑中武夫, 鈴木重雅, 守山史生, 赤羽賢司, 河鱒公昭, 土屋 淳, 森本雅樹 (東京天文台, 東大理): 4月19日の部分日食の電波観測について (速報)…………… 8
63. 守山史生 ( // ): 100 Mc/s, 67 Mc/s における太陽電波の観測…………… 7
64. 赤羽賢司 ( // ): 波長 1.65 cm における太陽電波の観測…………… 5
65. 柿沼正二, 田中秀暁 (京大理): フレヤーとラジオバーストとの時間差について…………… 5

シンポジウム I, 銀河系のスケールの問題……………高瀬文志郎 (東大理)

- [夜] シンポジウム II, 金環食観測法……………  
 ……須川力 (緯度観測所), 広瀬秀雄, 下保茂 (東京天文台), 藤波重次 (京大理), 塚本裕四郎 (水路部), 斉藤国治 (東京天文台)

### 第 3 日 5 月 17 日 (土)

[午前] 9時より

66. 高瀬文志郎 (東大理): アンドロメダ星雲の質量分布 (II)…………… 7
67. 清水 亞 (京大理): 速度分布図からの informations…………… 8
68. 菊池定衛門 (東北大理): 高速変星のケプレル軌道要素の分布について…………… 7
69. 安田春雄 (東京天文台): 高速変星の銀河軌道…………… 5
70. 松波直幸 (東大理), 小尾信彌 (東大教養), 下田真弘 (東大理), 高瀬文志郎 (東大理), 武部尙雄 (東大理, 物理): 球状星団の進化…………… 8

シンポジウム III, 高温星の化学組成…………… 寿岳潤 (京大基研)

[午後] 公開講演 (午後2時より, 科学博物館と共催)

- ◇人工衛星の軌道……………東京天文台…竹内端夫氏  
 ◇4月19日の金環食……………観測者諸氏

会場  
交通  
案内

#### 東 京 大 学

- ◇国電お茶の水駅または上野駅より東大構内行スクールバスで病院前または終点下車。  
 ◇お茶の水駅より浦和行または荒川土手行バスで赤門前または正門前。  
 ◇都電通三丁目一神田駅—王子駅線で赤門前。  
 ◇都電厩橋—御徒町駅—早稲田線又は錦糸堀—御徒町駅—大塚駅線で春木町  
 ◇地下鉄丸の内線で本郷三丁目。

#### 科学博物館

国電上野駅公園口より下車, 線路ぞいに北へ約2丁。なお表玄関から入ると料金がいきますから, 事務館入口 (学士院側) からお入り下さい。